

モニタリング結果報告書 (令和5年度)

1. 施設概要

施設名	境川遊水地公園		
所在地	横浜市戸塚区俣野町・泉区下飯田町・藤沢市今田		
サイトURL	http://kanagawa-park.or.jp/sakaigawa/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成19年8月)		
指定管理者名	神奈川県公園協会・サカタのタネグリーンサービスグループ		
指定期間	R4.4.1 ～ R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (藤沢土木事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に見直され、多くの県民が旅行やレジャー施設に出かけるようになり、相対的に公園利用の割合が低下したことが影響し、利用者数が目標値を下回り、B評価となった。しかしながら、適切な公園管理により、利用者満足度調査では、「満足・やや満足」の回答割合が約98%と高い評価を受けS評価となり、3項目評価もA評価となった。 <各項目の詳細説明> ◆管理運営等の状況 提案に基づいて、自然環境の保全活用、スポーツや地域交流のイベントを開催し、イベント等の参加人数は昨年度の13%プラスという実績をあげた。また、遊水地として一時的に水没した施設の清掃・維持管理を迅速に行い、早期の利用再開に努め、このことについて、満足度調査にて評価を頂いた。 ◆利用状況 利用者数が目標達成率98.3%となりB評価となった。これは、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に見直され、多くの県民が旅行やレジャー施設に出かけるようになり、相対的に公園利用の割合が低下したことが影響していると考えられる。引き続き、県民の皆様一人でも多く公園に訪れていただけるよう、利用促進イベントなどの充実を図る。 ◆利用者の満足度 9月と2月にアンケート調査を実施し、上位2段階の回答割合が約98%ととなったためS評価となった。幅広い世代の利用者に回答してもらえるよう、利用者に直接アンケートの協力を依頼することにより、回収数/配布数は100%となった。 ◆収支状況 原油価格等の高騰などの影響を受け、昨年度よりも収支差額は減少したが、光熱費等の経費節減努力により支出が抑えられ、収支比率は100.51%となり、A評価となった。 ◆苦情・要望等 公園利用者のマナーについての苦情が寄せられたが、必要に応じて注意喚起のアナウンスを増やすなどの対策を講じ、サービス向上につなげた。 ◆事故・不祥事等 指定管理者の責に帰する事故等はなかったが、破損事故があった場合には、注意喚起の掲示等行うなど、再発防止に努めた。 ◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査及び労働基準監督署からの指摘事項はない。 ◆その他 なお、令和5年度の3項目評価についてはA評価とした。今後は、利用促進イベントの拡充を図り、さらなる利用の拡大に努めてもらいたい。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう。
A	B	S	A	S: 極めて良好 A: 良好 B: 一部改善が必要 C: 抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	月1回程度	現地を調査し、指定管理業務が適切に履行されていることを確認している
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	四半期に1回程度	県と指定管理者で打合せを行い、運営管理上の問題点等について情報共有を図った
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
■蓄積されたノウハウを活かした遊水地機能の確保と早期復旧 ○開園時から積み上げてきた管理経験に基づく遊水地機能の確保 ○越流後の公園利用の早期復旧 ○遊水地の役割・機能に関する普及啓発	・河川行政経験者の配置による水防体制の確保を実施した。 ・遊水地内の越流状況や園内復旧予定など、随時リアルタイムでの情報提供を実施した。 ・遊水地機能の普及啓発を目的とした小中学校・一般団体等の自然環境学習の受け入れを計8件対応した。	提案内容のとおり適切に実施されている。
■ビオトープの自然を調べて守って魅力を分かち合う ○水辺の自然豊かなビオトープの適正な保全 ○環境学習の場の提供やビオトープ調査の人材育成	・詳細な自然環境調査に基づいた長期的視点による管理計画の見直しを実施 ・公園主導による境川遊水地探鳥クラブ（仮称）を設立・運営に向け、園内の野鳥記録の蓄積を実施した。 ・地域の大学との協力でビオトープの管理作業を行うなど、大学等との新たな連携体制の構築を実施した。	提案内容のとおり適切に実施されている。
■エリアに応じたスポーツ利用の促進で未病改善をサポート ○多様な世代が楽しめる健康づくり、スポーツメニューの充実	・6月24日にプロスポーツ選手による子供向けスポーツ教室の開催し、参加者数は24人であった。 ・10月25日に周辺住民の健康づくりに役立つイベントとして、ウォーキングイベントを実施し、参加者数は16に出会った。	提案内容のとおり適切に実施されている。
■地域交流の拠点として充実したサービスやプログラムを提供 ○公園を通じた新旧住民の交流促進	・地元農家及び社会福祉法人等によるマルシェを令和5年5月、10月に各2回開催し、イベント参加者は、延べ159人であった。	提案内容のとおり適切に実施されている。

〔 参考：自主事業 〕

事業計画の主な内容	実施状況等
温水シャワー	4月1日から11月30日の期間で温水シャワーの営業を実施
公園オリジナル冊子の拡充事業	出版後に開園した今田遊水地の野鳥情報の追加など、改定に向けた準備作業の実施

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。
B	

	前々年度	前年度	令和5年度
利用者数※	316,363	314,336	303,127
対前年度比		99.4%	96.4%
目標値	294,000	299,626	308,518
目標達成率	107.6%	104.9%	98.3%

目標値の設定根拠： 事業計画書記載目標数値

利用者数の算出方法（対象）： 施設利用者数及び目視の計数より推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

＜備考＞
新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に見直され、多くの県民が旅行やレジャー施設に出かけるようになり、相対的に公園利用の割合が低下したことが影響していると考えられる。

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上　A：70%以上～90% 未満　B：50%以上～70%未満　C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の 実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは 通年、詳細アンケートは年２回（９ 月と２月）実施。	指定管理者による適切な公園管理により、前 年度と同様に利用者から高い満足度を得てい る。

〔 サービス内容の総合的評価 〕

質問内容 公園の満足度とあなたが理想とする公園像アンケート

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 200 / 200 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合 的評価の回答数	148	44	4	1	0	197	明るく清潔で、管理が 行き届いている。
回答率	75.1%	22.3%	2.0%	0.5%	0.0%		
前年度の 回答数	156	33	5	4	0	198	
前年度回答率	78.8%	16.7%	2.5%	2.0%	0.0%		
回答率の 対前年度比	95.4%	134.0%	80.4%	25.1%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

8. 収支状況

評価	《評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設》 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上　A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満　C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	138,460	0	1,377	自販機1,377	139,837	139,837	0	
	決算	138,460	0	2,961	自販機2,961	141,421	131,769	9,652	107.32%
前年度	当初予算	132,900	0	2,245	自販機2,245	135,145	135,145	0	
	決算	132,900	0	2,965	自販機2,965	135,865	133,833	2,032	101.52%
令和5年度	当初予算	132,900	0	2,245	自販機2,245	135,145	135,145	0	
	決算	132,900	0	2,952	自販機2,952	135,852	135,168	684	100.51%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数	(単位:千円)
令和5年度 / 前年度 / 前々年度 /	

<備 考>

9. 苦情・要望等 ☐ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	口頭	1 件	・少年野球場の砂埃についての苦情。	・砂埃が酷い時は、野球場利用者へ散水用として貸し出すホースの本数を増やすなど、砂埃への対策を実施。
		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他	口頭	1 件	・園内での子どもの自転車の練習、キャスターボード・ジェイボードの利用についての苦情	・危険な行為を見かけた場合は園内放送で注意喚起を行っていたが、人が多い時は定期放送で注意喚起を行う等の対応を実施。
	電話	1 件		
	メール	2 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☐ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
R5. 9. 4	①下飯田遊水地 中央越流堤園路を一人で歩いている男性が意識を失い転倒 ②同日に電話とメールにて報告があった。 ③副園長、管理員がAEDを持参し現場へ急行。本人は意識もあり名前などを受答えできたが、頭部を打った可能性がある事から、救急搬送された。 ④無 ⑤無 ⑥無
R5. 10. 10	①公園利用者が、駐車場にて自動車をバックさせたところ、背後にあった照明灯に衝突した。 ②同日に電話とメールにて報告があった。 ③照明灯の損傷については、保険で対応した。 ④無 ⑤無 ⑥無
R6. 1. 23 R6. 1. 24	①23日と24日にポケットパークのみんなのトイレにて、オスメイト用石鹸水入れの破損、大便器にトイレットペーパーごと突っ込まれるいたずら、さらにトイレットペーパーホルダーの破損が発生。 ②同日に電話とメールにて報告があった。 ③再発防止として、トイレ内に注意喚起を掲示した。また、破損した石鹸水入れ及びトイレットペーパーホルダーについては、新規購入した。 ④無 ⑤無 ⑥無
R6. 3. 10	①公園利用者が、ブレイボードに載って遊んでいたところ、転倒し右腕を負傷した。 ②同日に電話とメールにて報告があった。 ③公園利用者が救急要請し、救急搬送された。 ④無 ⑤無 ⑥無

R6. 3. 31	①下飯田遊水地臨時駐車場において、スケートボードで遊んでいたところ転倒し、左足首を負傷した。 ②同日に電話とメールにて報告があった。 ③負傷者の同行者が救急要請し、救急搬送された。 ④無 ⑤無 ⑥無
-----------	--

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。